



蓬原の子

まとめの学期

校長 徳田 賢一

暖かい冬休みが終わり3学期がスタートしました。子供たちにとってはあっという間だったかもしれません、華やかなイベントが満載の楽しい冬休みだったと思います。また、各家庭では新年の抱負等も話し合われたことでしょう。

3学期の授業日数は、53日(6年生は52日)で、ぼんやりしているとあっという間に過ぎ去ってしまいます。子供たちには、今の学年で身に付けるべき学習内容を、確実に定着させて次の学年に進ませたいと考えています。始業式では、「夢を目標にして、ありがとうございますを伝える学期にしよう」という話をしました。夢の実現に向けて担任の先生を困らせるくらい、理解できなかったところは分かるまで何度も聞く、向上心旺盛な子供を育てていきましょう。

また、日常の学校生活では、相手を尊重する気持ちを大切にしてほしいと思います。特に、言葉遣いには気を付けるようにしましょう。自分では何ともないと思っていることでも、相手を深く傷つけている場合があります。「自分が注目されたい」「自分の考えが正しい」「相手より自分が優れている」等を考えていると、場合によっては友達から嫌がられることになります。相手の考え方や気持ちを受け入れることができたら、発する言葉が同じ内容でもとげの無いものになり、良好な関係性を保つことができます。マザーテレサの言葉に次のようなものがありました。

思考に気をつけなさい,
それはいつか言葉になるから
言葉に気をつけなさい,
それはいつか行動になるから
行動に気をつけなさい,
それはいつか習慣になるから
習慣に気をつけなさい,
それはいつか性格になるから
性格に気をつけなさい,
それはいつか運命になるから

3学期は、学習面・生活面等においてまとめの学期です。残された日々をどのように過ごすかで、4月からの新学年での心構えも変わってきます。毎日を楽しく充実させるためにも、何か目標を持って一日一日を大切にしながら過ごせるよう、御家庭でもお子様と話し合ってください。



本校の卒業生で、志布志市にお住まいの宮森謙吾様から、今年も子供たちに本を寄贈していただきました。宮森さんからいただいた本は「宮森文庫」としてコーナーになっています。宮森さんは、「子供たちが好きな本をたくさん読んでほしい。」とおっしゃられます。先輩からの熱い思いに応えて、子供たちが楽しんで本を読める環境を今後も整えていきたいと思います。



(図書委員の子供たちからのお礼状)



1月20日3校時に「地震避難訓練」を実施しました。今年度2回目の地震を想定した避難訓練でした。今回は、事前に子供たちに避難訓練を実施することを通知せずに行いました。前回の反省をもとに、全員帽子をかぶり、無言で、迅速に避難できました。

合い言葉の「お(さない)・か(けない)・し(やべらない)・も(どらない)・ち(かづかない)」も再確認できて、いざという時に備えることができたと思います。各家庭でも、地震のときの避難場所や家から持ち出すものなどの話を、親子で確認しておいてほしいです。